

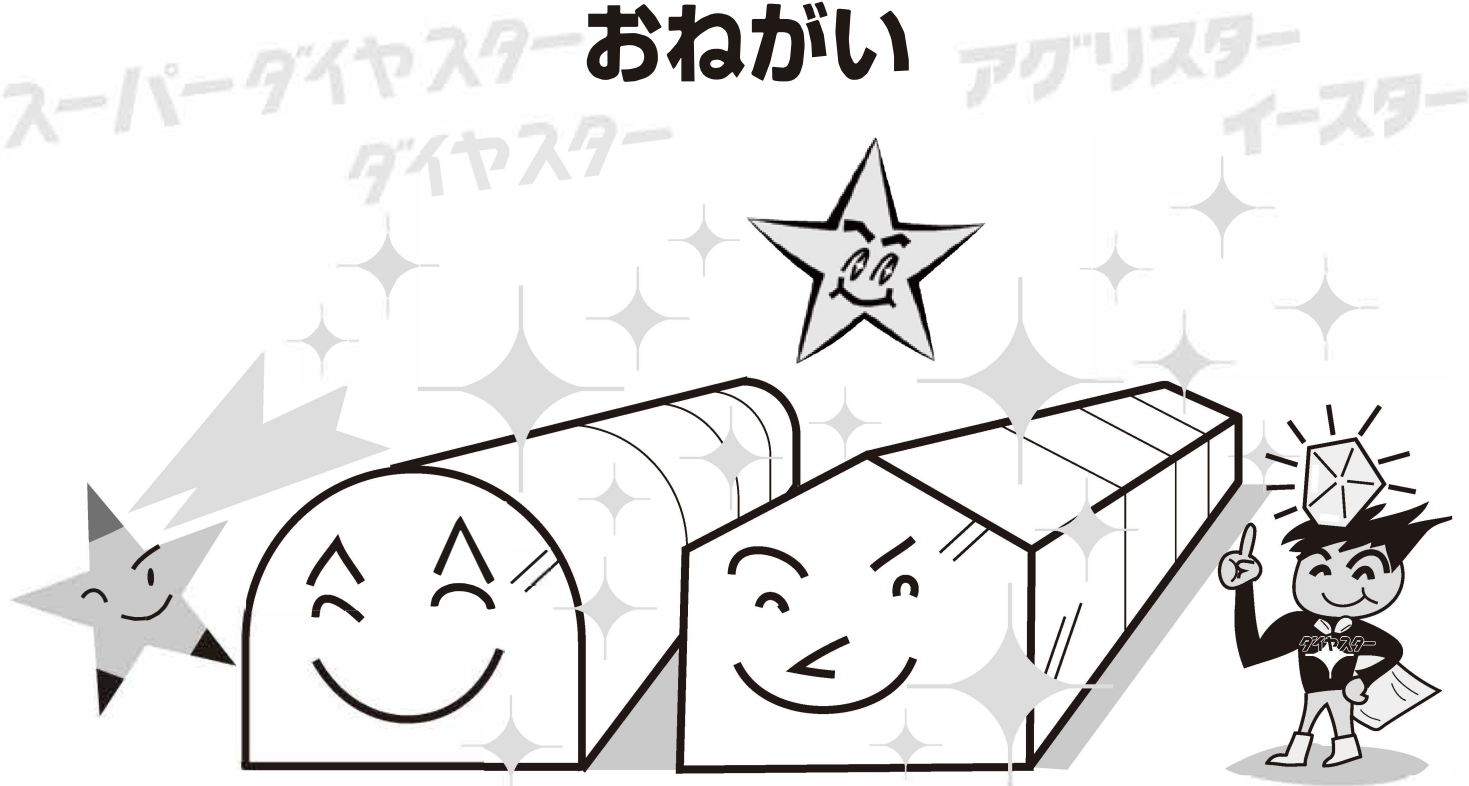
MKVアドバンスの

塗布型農POフィルム

および

農POフィルム

上手にお使いいただくための おねがい



展張、ご使用にあたってはその性能が十分に発揮されますよう、
本説明書の内容にご留意ください。

⚠ 注意 取り扱い上の注意 当製品は重量物です。荷扱いにはご注意ください。

⚠ 注意 展張作業時のケガ防止
展張作業は、できるだけ風のない日に行ってください。特にハウス上で作業する場合は、
突風によりフィルムがあおられ、強い力で引っ張られて転落することがあるので、非常に危険です。

⚠ 注意 他用途への使用禁止 当製品は農業用被覆資材です。他用途には使用しないでください。

MKVアドバンス株式会社

塗布型農POフィルムを上手にお使いいただくために

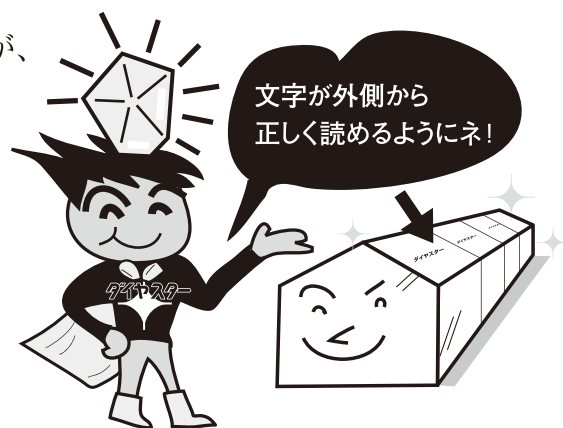
1 展張前の保管について

- ①フィルムは、できるだけ冷暗所に保管してください。
- ②フィルムどうしを重ねたまま、ハウス谷部や内部等高温下で放置すると、融着する(くっついて離れなくなる)おそれがあります。
- ③展張前のタタまれた状態やフィルムどうし重ねたまま、谷部などで雨水により濡れると、フィルムの裏面同士が融着することがあります。



2 フィルムには、オモテとウラがあります

無滴塗膜面が内側になるよう、フィルムに印刷された文字が、ハウスの外側から正しく読めるように、お張りください。

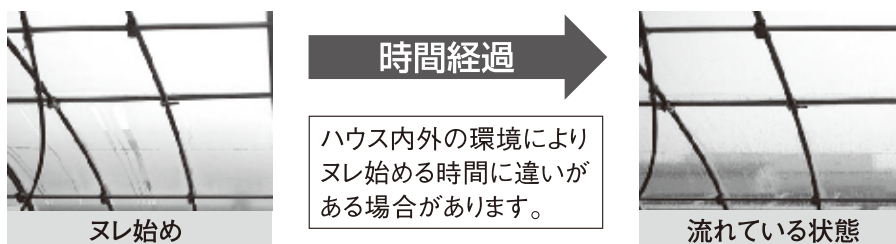


3 フィルム内側の無滴面を強くこすらないでください

展張時に、フィルムを引きずらないでください。
無滴塗膜面が傷つくと優れた無滴性が損なわれます。
●展張専用器具をご使用になると、無滴面の傷つきを抑え、展張作業がラクに行えます。

4 塗布型農POフィルムの無滴性

- ①塗布型農POフィルムの無滴性は、ヌレ始めにガラスのように一時的に細かい水滴が付着して曇ることがあります。水滴が流れ始めるまでの過渡的な現象であり、無滴性能は低下していません。



- ②塗布型農POフィルムは、ハウス天井部などの傾斜のゆるい部分で水滴が流れにくい場合があります。
- ③フィルムのシワ・たるみをとるようにお張りください。塗布型農POフィルムは、フィルム裏面を流れる水滴の量が多い為、ハウス内への水滴の落下の原因となります。
- ④濡れたまま巻上げ・たくしあげなどで長期間放置すると、塗膜同士がくっつくことがあります。
★長期間、保管するときは、フィルムをよく乾燥させてください。
- ⑤無滴塗膜面に油性成分を含む薬剤等が付着すると、性能が損なわれるおそれがあります。

5 樹脂コートされたパイプやハウス部材に、フィルムが貼りつくことがあります

★万一貼りついた場合は、フィルムが貼りついた部分を濡らして少しずつはがしてください。



農POフィルムを上手にお使いいただくために

1 フィルム展張の際、タルミは禁物です

小ジワのよらぬよう強めにピンと張り、奥行きと両サイド方向にフィルムを固定してください。

PO系フィルムは、温度による伸縮性があります。

冬・低温時に展張された場合は、夏に気温が上がるとフィルムがゆるみバタつくことがありますので、その際は両サイド方向に増締めを行ってください。また、ハウスの奥行き方向2～4mおきにスプリング等でバタツキを抑えることをおすすめします。

なお、農ビ用ハウスバンドの使用は、棟パイプとの擦れによりフィルムが破れることがあります。

●ハウス両妻側の風の強い部分には「スレない君※」などPO専用バンドのご使用をおすすめします。

★厳寒期・寒冷地での展張のポイント 厳寒期は、フィルムが硬く伸びにくくなります。厳寒期のフィルム展張は、折り目が伸びにくく、折り目から水滴が落下する場合がありますのでご注意ください。

2 フィルムの固定は、スプリング式留め具の利用が、簡単で確実です

サビたスプリングの使用はフィルムを傷つけることがあります。

また、古いスプリングは、十分なおさえ強度が期待できません。

新しいスプリングに交換してください。

サビたスプリングは
新品に交換!

新しい
スプリングが
おすすめ!



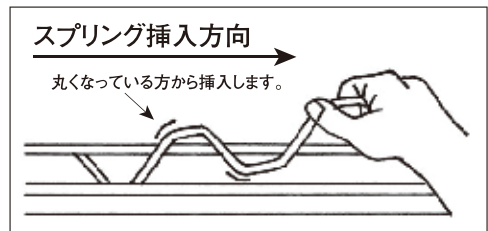
3 フィルム展張の際、スプリング端部の取り扱いには十分ご注意ください

①スプリングでフィルムに傷がつくと、そこから破れるおそれがあります。

②スプリングでフィルムが強くこすられると、フィルムに穴があくことがあります。

③スプリングは、端部までレールに確実に入れてください。

〈図参照〉スプリングは角の丸い方から先に、レールに入れてください。



4 ハウスバンドは、こすれによる破れや、バンドによって発生したシボリジワの部分からの水滴落下の原因となります

5 陽熱殺菌や土壌消毒の際には、ハウス換気に努めてください

高温での蒸しこみや、薬剤の影響で、無滴性や耐候性など、PO系フィルムの性能の劣化を早めるおそれがあります。

6 当製品と農ビを妻面等で密着させて(重ねて)使用する事は、おやめください

耐久性が損なわれるおそれがあります。

地域、気象条件によっては、ホコリ、カビ、藻などの付着により光線透過が低下する場合があります。

7 ハウス内での硫黄くん蒸・硫黄散布・硫黄系薬剤の使用は、PO系フィルムの劣化(いたみ)を早めます。またハウス近隣で硫黄系薬剤(果樹園・樹木等の消毒)を使用した場合も、同様の劣化(いたみ)が発生するおそれがあります。



硫黄農薬の影響事例

8 フィルムの保管について

- ①フィルムはよく乾燥させ、直射光をさけて、できるだけ冷暗所に保管してください。
- ②フィルムを束ねた状態や重ねたまま、ハウス棟・谷部・ハウス内部など高温下で放置すると、融着する(くっついて離れなくなる)おそれがあります。

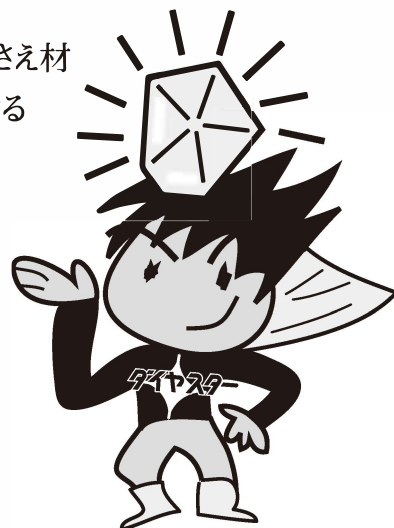
9 フィルムの連続展張について

フィルムを連続展張する時には、ハウスの構造、基礎、留め材、フィルム押さえ材の見直しを行い、ハウス全体の耐風強度を向上させて、フィルムを展張するようおすすめします。



〈見直しのポイント〉

- 構造——補強、突起物除去
- 基礎——補強
- 止め材——取替え、両サイドへの止め材の設置や追加
- フィルム押さえ材——スプリングの更新



10 短い折れシワが、折り目の近くにみられることがあります。これは、フィルム製造時にロール状に巻き取ったり、加工時にロールから巻き出す時に、折り目部分に重量がかかりできたものです。POフィルムは、低温や強風に強く、短い折れシワからフィルムが破れることはありませんので、安心してご使用ください。

11 加温機の排気煙突など、高温になる部分にフィルムを近づけたり、または接触をすると溶ける場合があります。

●ご不明な点がございましたら、ご使用の前にお買い上げの販売店又は当社にお問合せください。

●地域、ハウスの構造、気象条件によって、耐用年数が短くなる場合があります。

カタログ、チラシ等の耐久年数表示は目安であり、保証期間ではありませんのでご了承ください。

※「スレない君」についてはフィルム購入先、または弊社までお問い合わせください。

補修・補強テープ

POフィルムの補修・補強に最適です。



取扱店